

# 当園のリハビリ活動の取り組み

## ～ 充実した園生活を目指して～

施設名：ぎのわんおもと園 リハビリテーション科

発表者：大嶺美幸

島袋香 富浜陽子 上地奈利江

### 1. はじめに

当園は2階60床、3階60床の計120床の介護老人保健施設である。

前回の介護報酬改定により、個別リハビリ(以後個別リハ)がより重視され、当園においても理学療法士、作業療法士による個別リハを行っている。しかし個別リハにて対応するには限りがあるため、少しでも質の高いリハビリの提供を目的として規定の個別リハやミニグループに加え、規定外のリハビリ活動(以後リハ活動)の提供をリハ助手のみで行うことになったのでここに活動報告をする。

### 2. 当園のリハビリ活動とは

基本的な生活リズムを保ち、余暇活動の一環として目的を持った活動を提供すること。

趣味活動の支援をすること。

入所者、助手ともに楽しんで活動を行うこと。以上を目標としている。

### 3. 各リハビリ活動の紹介

現在リハ活動は3階にて週3回

時間 15:00～16:00(1時間)

運営 リーダー1名、サブ1名の2名。

#### <活動>

対象者：日常生活は自立していて余暇活動を充実させたい方

目的：自信獲得、趣味・楽しみ獲得、対人交流機会の獲得

活動内容：クラフト

#### <活動>

対象者：男性入所者

目的：離床促し、精神安定、機能維持、楽しみ作り

活動内容：花札

#### <活動>

対象者：失語症や構音障害のある方

目的：自信獲得、対人交流機会の獲得、こころの安定

活動内容：挨拶、日にちの確認 全身的リラクゼーション 口腔周囲および上半身の体操 五十音・数字 コミュニケーション 歌 挨拶

### 4. 考察

初めは活動方法がうまく見出せなかったが、回数を重ね、さまざまな方法を試みていくうちに活動方法がかたまってきた。

どういう活動を選択すれば、楽しく、一体感を持ち、継続して参加できるか？ 入所者にあった方法やアレンジを行う マンツーマンに近い対応で向き合う 残存能力の把握を行う。

などのことが大切だということを学んだ。

### 5. まとめ

リハ活動を取り入れたことで楽しみが増え、生き生きしてきたように思える。規定外の活動のためすべての入所者へ提供することは難しいが、将来的には週間プログラムの調整を行い、2階での展開も考えている。長くなる傾向にある入所生活だが身体、精神的活動の維持を行い、入所者が日々楽しくより良い生活が送れるように支援していきたい。